

## 平成16年度技能職者表彰

### 時田さん、滝川さんに

「平成16年度播磨町技能職者表彰」が11月22日(月)に、町長室で授与されました。



▲滝川さん、時田さん

受賞されたのは次の方々です。

時田 正明さん(北本庄)

51年間、自動車整備士の技術に磨きをかけ、兵庫県整備振興会加古川支部長を務めるほか、兵庫陸運局長などから数多くの表彰を受け、大きな評価を受けておられます。また、後継者育成に力を注いでおられます。

滝川 澄子さん(宮北)

美容コンクールにおいて花嫁着付の部で兵庫県大会、近畿大会で優勝するなど、日々の努力で技術を磨いておられます。34年間、美容師としての地域での信頼も厚く、美容組合においても大きな評価を受けておられます。

## 阿閉国民学校の修学旅行、60年ぶりに実現

昭和19年、阿閉国民学校卒業生の岩本サツ子さんの呼び掛けで、戦争のために中止となった修学旅行の夢が叶いました。11月9日(火)、目的地は伊勢です。

旅行後「60年の夢かなう修学旅行記」が届きました。

「後部の呑み助の中にいた鹿ノ川の男の子繁ちゃんに僕らの歴史を作ったと嬉し泣きしたら前の席から小学唱歌の合唱が湧き上がり後部の呑み助も負けまいと声をはりあげ大合唱となりました。何の事故も無く楽しかった2日間はあっという間に終わりました。」(抜粋)



▲終戦のころ 少年少女でした

## 応援ありがとう!! ジュニアオリンピック報告会

### 播磨南中学校 陸上部



▶(写真左から)中村君、(校長)大西さん、丸山さん、安立さん

ジュニアオリンピックとは、中学生が出場できる一番レベルの高い大会です。10月に横浜で開催された「第35回ジュニアオリンピック陸上競技大会」の報告会が、11月13日(土)に生徒、職員、保護者が集まる中で行われました。

田中校長からは「全国クラスの大会に4人も選手が出場してくれたことが素晴らしい。そして、3人が上位入賞という結果を残してくれた」とねぎらいの言葉がありました。

## 第35回ジュニアオリンピック結果

中村 仁君  
男子優秀選手賞 (JOC杯) 受賞  
Bクラス (3年) 110mハードル  
優勝 14秒55 大会新記録優勝  
(予選 14秒53 大会新記録)  
「今までの中で一番緊張しました。3年間で最後の大会になるので、気を引き締めて行きました」

大西 菜津美さん  
BCクラス (2、3年) 共通 円盤投げ  
33m55 2位  
「自己記録には届かなかったけど、表彰台に上がれてよかったです」

安立 理香さん  
Bクラス (3年) 100mハードル  
予選 16秒92 4着  
「3年生最後の大きな大会に出場できて、本当によかったです。いい経験も出来ました」

丸山 結花さん  
Dクラス (1年) 100mハードル  
決勝 15秒57 2位 (予選 16秒35)  
「初めての大きな大会で、予選はすごく緊張して自分の走りが出来なかったけど、決勝はすごく落ち着いて走ることが出来ました」



▲平成16年はタコつかみでした

・大中遺跡まつりの企画や運営。当日のステージ進行を担当。  
・学校完全週休2日制支援活動として、

・夏まつりの警備担当、魚のつかみ取りコーナーをバックアップ。ステージの出演。

### 活動の内容は?

— 活動の内容は? —  
— どんなメンバーで構成されていますか? —  
現在、会員は31人。中学生、高校生、一般と幅広いメンバーです。

— 会が結成されたのはいつ頃ですか? —

終戦後、各村ごとにあった青年団を統合し、青年団連絡協議会が発足。昭和40年代になって名称を「播磨町青年協会」に変更し、現在に至ります。

若年層の活性化および地域文化活動の推進、青少年の健全育成、会員の増強という目的をもって運営しています。



このコーナーに登場して下さる「人、仲間たち」をご紹介ください。自薦・他薦は問いません。企画調整課

## 播磨町青年協会

代表者 田辺 耕二さん



▲地域文化活動を盛り上げたい

### グループのモットーは?

協会員相互の親睦を図り、上下の隔たり無く、アットホームな雰囲気での活動しています。

協会員がより多く、町の事業に参画し、将来的には若年層が主となって住民主体の運営へ移行できるように努力しています。

### 最近の話題など

大中遺跡まつりのファイナーレで、村井敏朗さんが大中遺跡まつりのテーマソング「土の器」を熱唱しました。まつりの土の舞台、祭壇、周りのロケーションと賞頭衣、そして照明と融合し、関係者ながら感動してしまいました。

平成17年の大中遺跡まつりは15回記念まつりなので、ピックアーティストを呼べたらいいなあと思います。

## 「人の役に立つことができたらいいなと思うから」

### 青年海外協力隊へ町内から初派遣

技術や経験を生かして発展途上国の人々を支援する青年海外協力隊。播磨町から初めて、安福有紀子さん(本庄2丁目)がアフリカのガーナにある小さな村の病院へ赴き、薬剤師として2年間勤務することになり、町長への表敬訪問をされました。

町長より「勇気と決心が必要だったのではないですか」と尋ねられると、「私の場合は勇気も決心も、あまりありませんでした。苦しいことも楽しいこともあると思います。苦しいことも苦しいことは忘れませんが、私から、楽しいことばかりになると思っています」と、希望に溢れていました。



▲資格を活かして活動します

「体を大切にして活動してください。戻った時には住民や子どもたちにアフリカの話をお聞かせください」との激励に、安福さんは明るい笑顔で「はい」と答えていました。

## フットサル県大会で

### 播磨SC・Aが準優勝



▲次の大会も頑張るぞ!

10月24日(日)、西宮市立中央体育館にて行われた「第14回全日本少年フットサル大会兵庫県大会」が行われました。

播磨SCのAチームは予選リーグ、準決勝と順調に勝ち進み決勝で日生中央SC・Aと対戦。惜しくも敗れましたが、準優勝を果たした選手たちは、次のサッカーでの大会に向けて大きな闘志を燃やしています。

# ＜播磨町の教育を考える＞ 播磨町教育審議会で話し合っています

今、播磨町教育審議会では、「将来を志向した学校園教育のあり方」と「生涯学習振興のための教育施設の活用」について、岩田一彦会長（学校教育部長・兵庫教育大学教授）、八並光俊副会長（生涯学習部長・兵庫教育大学助教授）を中心に計11回の話し合いを進め、答申のまとめの段階に入っています。

▶問い合わせ 生涯学習課 ☎0794(35)0565・教育推進室 ☎0794(35)0545

## 学校教育部会では

規範意識の低下による犯罪や不登校、フリーターの増加など、概して子どもたちが自立的に生きる基礎が十分養われているとは言えない現状があり、また、個性の尊重を強調するあまり、それぞれの年齢において当然身につけさせておかなければならないことが身につけていないことも見受けられます。そこで播磨町としては、学校、家庭、地域が連携して全人教育を行い、「生き方について自己選択、自己決定できる人間」を育てていこうということになりました。特に3歳から15歳までを「人生におけるインフラづくり」の時期としてそれぞれが果たすべき役割を明確にするとともに、発達段階における指導の連続性を明示し、その施策を示すことにしました。

## 生涯学習部会では

生涯学習においては、学びの場としてだけでなく、学んだ成果を生かし交流を深めることで、地域の活性化が図れます。生涯にわたり、いつでも、どこでも、だれでもが、主体的に学ぶことができる生涯学習社会の実現を目指すという考え方に沿って話し合いを進めています。

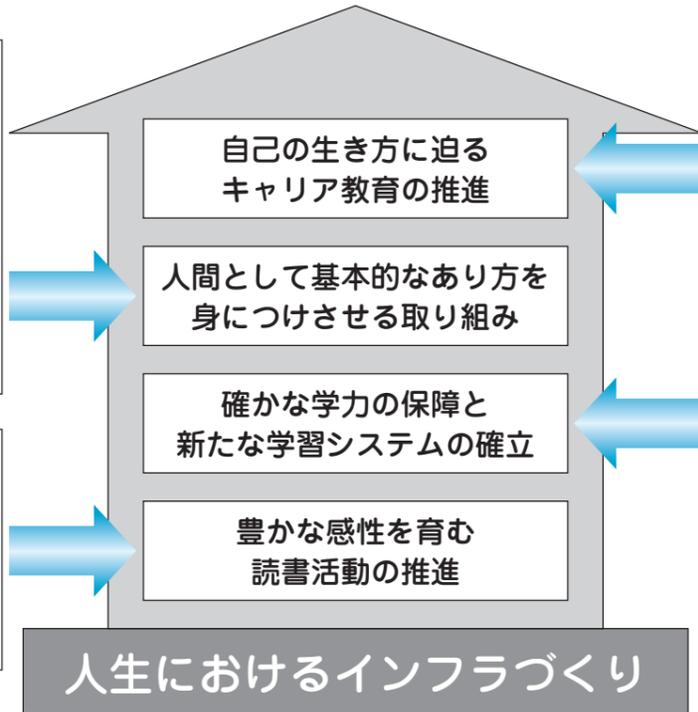
主な項目としては、住民の社会参画を進めることによる地域づくり、リーダーの養成やそのサポート、子どもを育成する家庭や地域などでの取り組み、高齢化が進む中で高齢者の社会参画と自立の促進、活動拠点としての施設づくりや既存施設の活性化などに集約しています。具体的な施策については、今後の話し合いを進めていく中で、まとめていくこととしています。

## ＜学校教育部会話し合いのイメージ図＞

### 生き方について自己選択、自己決定できる人間

2002年、播磨町児童生徒生活アンケート調査の結果、「毎朝、顔を洗う」子どもは、小1で71%、小2で57%、小6と中1で81%。毎朝、朝食を食べている子どもは小1でも86%、中3ではわずか69%です。

2001年OECD生徒の学習到達度調査の結果、日本は総合読解力では32カ国中8位でしたが、毎日の読書率では参加国中最低です。



2003年の国民生活白書によると、フリーターの数は全国で417万人、早期離職率は中学校卒で70%、高校卒で47%、大学卒で32%に上っています。

2001年OECD生徒の学習到達度調査の結果、数学、科学については世界でトップクラスだが、家で勉強する時間は参加32カ国中最下位。日本人がよく勉強していたのは、過去の話で、今は世界でも勉強しない国の1つになっています。

# 県立考古学博物館（仮称）の 建設が始まります！

昨年11月下旬から、大中遺跡南側に県立考古博物館（仮称）の建設に向けて発掘作業が始まりました。しばらくの間、近隣の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力いただけますようお願いいたします。



**こんな博物館を建設します**  
県立考古博物館（仮称）は、博物館と埋蔵文化財調査事務所との機能を併せ持つ施設として整備されます。県内の考古資料を展示するだけでなく、古代体験学習や最前線の考古学情報を通じて考古学を体感できる施設になります。  
平成19年の開館に先駆けて、関連する様々なイベントや先行展を郷土資料館にて開催しています。随時、広報などでご案内しますので、お気軽にご参加ください。

**大中遺跡も発掘調査**  
昨年の8月末から始まった大中遺跡の第21次発掘調査が12月15日（水）をもって無事終了しました。今回の発掘調査は、県立考古博物館（仮称）の建設にあわせ、「播磨大中国古代の村」の再整備をするために行われました。  
この度の調査では、弥生時代の住居跡4棟が発見され、その中から大量の土器片（2〜10cmほどの破片）とサヌカイトでできた石鏃が出土しました。住居跡によっては、高温の火を焚いたと思われる焼土が見つかっており、今までに発見された住居とは異なる性質を持っているとして注目を集めています。今後の分析や調査研究で、大中の地に暮らしていた昔の人々の生活がさらに明らかになっていくことを期待します。  
夏の暑さの中、木枯らしの吹く中、



▲遺跡内の発掘現場

▼放送チャンネル  
BAN-IBANテレビ 11ch  
(デジタルは011ch)  
▼放送日  
元日〜1月9日（日）  
▼番組についての問い合わせ  
BAN-IBANテレビ  
☎0794(21)3736

**テレビでも放送されます！**  
BAN-IBANテレビの番組「ニュースコミュニティ」は、東播磨2市2町の新鮮な地域の話や出来事を毎日提供している情報バラエティ番組です。この番組の新春特別番組「ニュースコミュニティ東播磨2005」で、年間のイベント情報が放送されます。  
播磨町の主な放送内容は、県立考古博物館（仮称）の建設予定地での発掘調査の状況や、大中遺跡、郷土資料館での平成17年度のイベント情報などを盛りだくさんで紹介します。ぜひ、ご覧下さい。

## 今年も来た、北まつり

### 播磨北小学校



みんなで盛り上がった北小フェスティバル



「わーい」と、今年も北小学校から、子どもたちの歓声が上がっています。11月3日(祝)、来た、北まつり「北小フェスティバル」が、盛大に開催されました。地域に開かれた学校を目指して、学校・児童会・PTAの3者が一体となって、取り組んでいる行事です。午前中の第1部は、総合的な学習や教科の学習発表で、歌あり、劇あり、朗読ありといった内容です。午後の第2部は、児童や地域の方々が主体的に取り組む、お化け屋敷や宝探しなどの店を出し、地域やPTAからは、ツールペイントや手芸陶芸品の展示がありました。中でも人気があったのは、北小学校恒例となっている「ボン菓子」販売や「もちつき大会」、教師とボランティアのお母さん方で作った「いも煮」でした。第6回目となった「北小フェスティバル」は、着々と伝統を作り上げていきます。

## 広島・宮島方面修学旅行

### —広島に学ぼう— 播磨南小学校



▼さあ出発だ

広島で学んできた多くのことを総合学習でまとめ、発表する予定です。

10月27日(水)、朝から快晴で雲一つない上天気。子どもたちの上気したうれしそうな顔、顔、顔。意気揚々とバスに乗り込み、いよいよ広島へ向けて出発。今回の修学旅行の前に、子どもたちは広島で取り組みたいことや調べてみたいことなどを何度も話し合い、自分たちでテーマや課題、コースなどを決めていきました。

広島ではそれぞれのテーマについて「自分の目で」「自分の心で」学習を深め、戦争の悲惨さや恐ろしさ、平和について考える多くの機会を得ました。

宮島では世界遺産に触れ、鷺羽山八 Irlandでは友達と楽しい時間を過ごし、思い出のいっぱいあった2日間を過ごしてきました。



## ぼくらはみんな生きている!

### 播磨西小学校3年生

初めての交流として運動会と一緒に綱引きをしました。でも、終わった後、「おもしろかった?」と聞くのになかなか伝えられなかった。播磨町聴覚障害者部会の方に手話を教えていただきました。初めての手話はむずかしかったけれど、話せる手段がひとつ増えるのは、うれしいことです。

音楽会では、習った手話で曲の説明をし、「ぼくらはみんな生きている」の歌を、手話をしながら歌いました。会場には、ろう学校の友達も来てくれました。「ぼくたちの手話は通じかね」目を輝かせる子どもたち。伝えたい! という気持ちはきつと通じていることとてしょつ。



手話教室で学ぶ児童

## 「いのちの教室」～親子で生と性を考える～

### 蓮池小学校

今年、蓮池小学校の学校保健委員会では、6年生の学年行事を兼ねて「いのちの教室」親子で生と性を考える講座を開きました。講師はマナ産婦人科の助産師・中山由美先生。中山先生から「誕生のよろこび」「生命誕生の仕組み」「愛するということ」「胎児の成長」についてのお話を、映像を見ながらお聞きしました。

また、6年生の児童は10キログラムの妊婦ジャケットをつけて、妊婦の体験をしたり、3カ月の胎児や新生児の人形を抱っこしたり、おむつ交換をするなどの体験学習を行い、妊婦さんの大変さや赤ちゃんへの両親の思いや育児の苦労などについて学びました。

親子で「命の大切さ」「人が生きる意味」どう生きていくのか?」について学び合うことができ、また話し合うきっかけとなった貴重な2時間でした。



▲中山先生のお話

## 文化祭 —歌声高らかに—

### 播磨南中学校

11月2日(火)、播磨南中学校の体育館で文化祭が開催されました。今年のテーマは、「心を一つに歌を歌おう。空の果てまで歌声響け!」。幕が開くと、有志による古宮の伝統芸である獅子舞が披露されました。文化祭は、生徒会役員司会・進行で順次プログラムが進んでいきます。内容は、吹奏楽部の演奏やバンド、ダンスなど多彩です。中でもメインは、全学年、全学級で歌声を競い合う合唱コンクールです。毎年2週間程度の練習期間を経て、文化祭当日に発表し合います。今年も全学級の熱唱を聴くことが出来ました。特に3年生は、どの学級も難しい曲に挑戦しながらもみごとに歌い上げ、見に来られた保護者から大きな拍手を受けました。

▲最優秀賞受賞クラス 3年3組



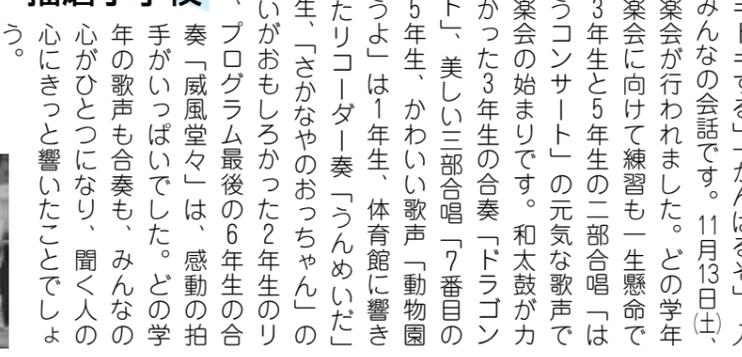
▲吹奏楽部の演奏

## ひびかせよう「みんなの心をひとつにして」

### 播磨小学校

「ドキドキする」「がんばるぞ」。入場前のみんなの会話です。11月13日(土)、校内音楽会が行われました。どの学年も、音楽会に向けて練習も一生懸命でした。3年生と5年生の二部合唱「はじめようコンサート」の元気な歌声で播小音楽会の始まりです。和太鼓がカツコ良かった3年生の合奏「ドラゴンクエスト」、美しい三部合唱「7番目の月」は5年生、かわいい歌声「動物園へ行こうよ」は1年生、体育館に響きわたったリコーダー奏「うんめい」は4年生、「さかなやのおっちゃん」のかけあいがおもしろかった2年生のリズム唱、プログラム最後の6年生の合奏「威風堂々」は、感動の拍手がいつぱいでした。どの学年の歌声も合奏も、みんなの心がひとつになり、聞く人の心にきつと響いたこととてしょつ。

合唱も合奏も素晴しかった校内音楽会



▲合唱も合奏も素晴しかった校内音楽会

## オープンハイスクール

### 播磨南高等学校

11月8日(月)、9日(火)に播磨南高等学校のオープンハイスクールがあり、11月13日(土)に英語コース(グローバル情報コミュニケーションコース)の体験入学がありました。私たち生徒会はビデオやスライドを使って、播磨南高等学校の特色や部活動、学校行事、授業内容など色々と紹介しました。その後10グループ程度に分れて、学校の施設などの案内をするため、生徒会が先頭で歩き、各教室などの説明をしました。

また13日(土)の体験入学では、本校にきた中学3年生が、学校設定科目(情報コミュニケーション、プラクティカルコミュニケーション、ラピットリーディング)の模擬授業を受けました。

▲入学式でまた会おう



▲入学式でまた会おう

## 温かい心が集まった!! 新潟県中越に向けての募金活動

### 播磨中学校

少しでもいいから「力」になりたい! をキャッチフレーズに生徒会役員が中心になって募金活動を10月28日(木)から11月5日(金)までの間、行いました。

朝、登校する生徒に向かって「よろしくお願いします」と呼びかけた結果、6万2千226円のお金が集まりました。お金と共に温かい人の心も募金箱にいっぱい入った気がします。10年前に起こった阪神・淡路大震災の時、いろいろな人たちに助けられたことへの感謝の気持ちが、この募金につながったと思われれます。

「人は支え合って生きている」ということを改めて実感した1週間でした。集まったお金は早速「日本赤十字社新潟県支部」に送りました。

▲みんなの善意はきつと届きます



▲みんなの善意はきつと届きます

一般的に、趣味と仕事を混同することは「公私混同」などと言われて、良く思われていません。また、スポーツや芸術の世界に見られるように、趣味の間は有意義な気晴らしであっても、生活を背負ってこれを続けるということは大変なことだと思います。

6年前自営業に転身し、電子機器の回路設計と簡単なマイコンソフトの開発というのが今の私の仕事です。私のラジオ少年時代は色々な物を作って楽しんでいましたが、電子立国ニッポンと呼ばれる時代を職業人として乗り越えるにはそれだけでは済みません。とにかく勉強、こ

れに尽きます。溢れている情報をこまめに拾い集めて身につける努力が必要です。人間一人が習得出来る知識に比べると電気業界の情報量は無尽蔵、その中で好きな分野に偏るのは人情でしょう。私は好きな無線と通信とコンピュータを中心に、その他の分野へ関連付けて学習を続けています。私の仕事のモットーは「どんな仕事でも自分からは断らない」です。そのためには経験の無いジャンルの仕事でも臨機応変にこなす。逆に小回りの利くところを評価してもらっています。

好きなことをやって、それを生業(なりわい)として生きていける自分は本当に幸せだと思っています。これからも続けられるように努力するつもりです。

—キホンテキセイカツシュウカン—  
ふれあいルーム 松村 誠

小学生の睡眠時間は9時間が必要といわれています。寝ている間に身体も脳も大きくなるのです。つまり「寝る子は育つ」のです。それぞれの家庭で、様々な事情もあるでしょう。しかし、確保してやってくたさい。かわいい我が子のために、9時間の睡眠時間とゆとりのある朝のひとときを。

元気に走り回っている子どもも、半分以上が昨日のウンコを体の中に持っているのかと思うといい気がしません。規則正しい「快食」「快眠」「快便」こそが基本的な生活習慣の中のキホンテキセイカツシュウカンであり、元気の源でもあります。

あなたに  
はつたつ

リレーエッセー⑦



河村 周一さん  
(古宮)

趣味 仕事  
漫画を読むこと

好きこそものの上手なれ

一般的に、趣味と仕事を混同することは「公私混同」などと言われて、良く思われていません。また、スポーツや芸術の世界に見られるように、趣味の間は有意義な気晴らしであっても、生活を背負ってこれを続けることは大変なことだと思います。

人間一人が習得出来る知識に比べると電気業界の情報量は無尽蔵、その中で好きな分野に偏るのは人情でしょう。私は好きな無線と通信とコンピュータを中心に、その他の分野へ関連付けて学習を続けています。私の仕事のモットーは「どんな仕事でも自分からは断らない」です。そのためには経験の無いジャンルの仕事でも臨機応変にこなす。逆に小回りの利くところを評価してもらっています。

好きなことをやって、それを生業(なりわい)として生きていける自分は本当に幸せだと思っています。これからも続けられるように努力するつもりです。

わんぱくはりまっ子



ふくだ ゆうた  
福田 悠太くん (6ヵ月)  
東本荘  
素直な心を持って成長してください  
(お父さん・お母さんより)



このコーナーに出たい「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらっても結構です。

「はりまの元気っ子集まれ！」

播磨西幼稚園



に集まった、たくさんの「ゴミを見てびっくり!!」町がきれいになってうれしい気持ちと、マナーを守る大切さに気付きました。そして、地域の人たちや他園の友達と一緒に役場ロビーに掲示してある幼稚園紹介のパネルを見た後、弁当を食べたり遊んだりして楽しいひとときを過ごしました。



全国幼稚園ウィークの一環として、11月17日(水)に、播磨町の3幼稚園の5歳児が、地域のみなさんと一緒に、それぞれの園から役場横の向ヶ池公園まで、ゴミ拾いをしました。道に落ちているたばこの吸い殻や空き缶などを見つけると「道に捨てたらあかんのー!」と言いつつ拾ったり、少し危険な所では「おじいちゃんが取ったろ」と、助けてもらったりしました。向ヶ池公園



野添コミセン文化祭に参加したよ!

蓮池幼稚園



▲たくさんの人に聴いてもらいました

11月21日(日)、今年で幼稚園の参加は5回目になる野添コミセン文化祭がありました。今年も、幼稚園として楽しいイベントをテーマに、歌ったり楽器を演奏したりしました。お家の方や地域の方に見守られながら、まずは年少・年中組が舞台上に上がりました。「幼稚園の始まる時間ですよー」の言葉を合図に、元気いっぱいの子が体育館に響きました。「やまびこっこ」の歌では、お客さまと歌の追いかけっこをして、にこにこ笑顔の子どもたち。次は年長組の番です。先生役と子ども役に分かれて、「ドレミの歌」を歌ったり、ピアノ伴奏に挑戦したりしました。皆の大好きな「世界に一つだけの花」はお客さまと一緒に歌い、皆の元気な声とお客さまのやさしい声がかみなり、とても素敵な大合唱でした。最後に大きな拍手をいただき、満足そうなお客さまもたちでした。



今日は、体育遊びの日!

播磨幼稚園

「うまいぞ!!」  
「うまいぞ!!」

「いち・に・さん・し」



な満足顔です。次の体育遊びの日が楽しみだね。

「うまいぞ。できた!」「すごいね!」などとほめてもらい、笑顔で友達とハイタッチする子どもたち。「おへそ見てまわったよ」「まわる時目あけてたよ」とマット運動の前転が得意になって、みんな

「いち・に・さん・し……」「やったあ! できた!」などと元気な声。マット運動やボールを使った遊び、体操などの指導をしてもらっこの日を、年長児は楽しみにしています。



「いち・に・さん・し」

ハトさん、げんきでね!

播磨中央保育園



▲ほら、あそこだよ

「先生、またハトが来ているよ!」見ると、ジャングルジムの一番上に山鳩がとまっています。じつと観察していると、「ゴソゴソと砂場の上の藤棚へ入っていきます。子どもたちと下からそっと覗いてみると、そこには枝を上手に組んだ巣があり、親鳩が卵を温めているようでした。運動会が終わりを告げると、そこにはかわいい2羽のヒナの姿が!! それからというものの、毎日「ヒナ見てくるね」「今日も元気かな?」と大はしゃぎで様子を見に行く子どもたち。その姿はまるで、「お母さん鳩」のようでした。

そして11月。何度もやってきた台風にも負けず、すくすくと成長したヒナは、お母さん鳩と飛ぶ練習を始め、子どもたちの見守る中、無事、巣立っていきました。とても心温まる秋の出来事でした。